

と む ろ い し
戸室石だより

土塀の石垣のように、みんなで、暖かい病院を！ 発行：金沢医療センター編集委員会

「臨床研究部長に就任して」

中村 由紀夫



昨年4月1日付けで臨床研究部長を拝命いたしました。本年度より研究部は研究領域を新たにしてスタートしました。すなわち、従来の循環器分野に加え、がん領域、当院担当の政策医療分野および治験を含む臨床試験領域です。出来るだけ多くの職員が参加できる環境を整えて行きたいと思っております。臨床試験は、有用な治療法の開発、無用な薬物の排除、疾患の病態解明の糸を得る等の理由から治療法の進歩に不可欠なものです。現在、患者さんも医師もできるだけ無理なく参加できるように、治験システム改善に取り組んでいます。臨床研究とは日々の診療を少しでも良くするための創意工夫だと思っております。今私たちが享受している医療は、これまでの臨床研究の積み重ねの上に成り立っています。そして、今私たちが行っている臨床研究が、これからの当院における医療の質向上を支えることとなります。皆様の参加、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「看護部長に就任して」

高野 沙知子



皆さん、初めまして！
昨年4月に静岡県の国立病院機構天竜病院より転勤して参りました。（とは言っても加賀市の住人ですが。）日本三大名園兼六園の隣に位置しながらも、まだまだ四季折々の風情を感じる気持ちの余裕もないままに半年が過ぎました。北陸の小京都と言われる金沢で、優しい金沢弁に触れ、何かしら安堵と懐かしい気持ちで一杯です。

金沢医療センターには約800人の職員が勤務し、その中でも看護部は480名余の大所帯を構えています。一番の特徴は平均年齢が若いことでしょうか。若いパワーと明るい笑顔で、病棟を守っていますが、看護師は気持ちに余裕が無く、時々ご迷惑をおかけし、お叱りを受けることもあります。その反面、本当はとても真面目でよく勉強します。専門職業人として研修会参加はもとより、何よりもベットサイドでの皆様からも多くのことを学び、今よりも皆様に喜んで頂ける看護・ケアを目標に学びを重ねています。

「看護がいいから金沢医療センターへ行こう」と言って頂けるよう、今後とも看護部一同精一杯頑張っております。

「教育研修部長に就任して」

阪上 学



微力ながら平成20年4月より現臨床研究部長の中村由紀夫先生の後任として重職を拝命しました。その責任の重さに身の引き締まる思いです。

病院における教育研修ってなんぞや？診療を受ける一般の方には少しなじみの薄いことかもしれません。病院の最も重要な役割が病気になった患者さんに少しでも良くなっていただく「診療」にあることは言うまでもありませんし、当然、私たち医療人としての最も大切な使命も病気で悩んでいる方によっていただくことにあります。“きちんとしたレベルの高い診療”、これが私たちの目標です。

では、普段の診療を黙々とこなしていれば、いい医療人・いい病院になれるのでしょうか？残念ながらそうではないのが現実です。医療は医師一人がいればいいものではなく、看護師をはじめとするパラメディカル、事務あるいは設備の人たちなど多くの人の力が必要であり、院内や地域でのチームワークや共通の認識形成は非常に重要です。このために毎日のように病院各所で勉強会や研修会が開かれており、これを推進していくことも教育研修部の重要な役割です。また、当然医療は日々進歩しており、その時代のニーズにあった診療をしていくためにはベテランであったとしても常に新しい知識や技術を習得していく必要があります。また、次の世代の人たちにもいい医療を受けてもらうには、新しい医療人を育成していく必要もあります。これら病院における教育研修がなくては、患者さんにレベルの高い診療をうけていただくことは難しいこととなります。

特に、最近医師不足が話題になっていますが、当院にとっても決して他人事ではないのが現状であり、当院で実習を受けている研修医の先生にいち早く立派な医師としての技量を身につけてもらうことは、我々医療スタッフばかりでなく、医療を受ける側の人たちにとってもメリットが大きいものと思っています。

教育研修部としては、現在から未来に渡って、よりレベルの高い医療を提供できるよう、教育研修システムを構築しておりますが、医療を学ぶ上でなにより重要なのは患者さんから現場で教えていただくことにあります。皆さんにも教育に加わっていただき、温かい気持ちで、よりよい医療人を育てていただければ幸いです。よろしく申し上げます。

第7回血管病センター公開シンポジウム

平成20年11月19日に第7回血管病センター公開シンポジウム「めまい、いろいろ」が開催されました。めまい診療に関係する耳鼻咽喉科、神経内科、循環器科、脳神経外科の医師が講師として最新の知識を紹介し、一般市民4割を含む約100人が参加しました。まず耳鼻咽喉科の瀧口医長がめまい一般について紹介し、耳からのめまいの代表的疾患である良性発作性頭位めまい、メニエール病、前庭神経炎の特徴と治療について講演しました。神経内科の新田医長はめまいの診断では、回るか、回らないかが重要なポイントで、回る場合は脳や耳からの病気が原因であることが多く、回らない場合は原因がいろいろであることを説明しました。一方、循環器科の小見医師は心臓がかかわるめまい・ふらつきの原因を起立性低血圧、神経調節性失神、不整脈や弁膜症などによる心臓ポンプ機能障害にわけ、それぞれの治療法についてのべました。脳神経外科の赤池医師は、手術が必要なめまいには小脳出血や脳腫瘍があること、頭痛・めまい・嘔吐の3症状がある場合は小脳出血の可能性が高く、その場合は脳神経外科的救急手術を必要とすることがあると話しました。参加した一般市民からは自分自身のめまい症状を含む多くの質問がでました。

かかりつけ医と医療センターを上手に利用しましょう

地域医療連携室 伊勢 拓之

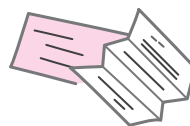
当院は平成20年4月1日付で「地域医療支援病院」に認定されました。これは、かかりつけ医を支援する地域中核病院を知事が認定するものです。当院の診療内容は変わりませんが、診療所との一層の連携を通じて地域医療の充実を図る役割が求められます。ここでは患者様に知っていただきたいポイントを4つご紹介します。

① かかりつけ医を持ちましょう



かかりつけ医とは、お近くの開業医の先生のように、風邪はもちろん、通院が必要な慢性疾患の診療、さらには生活習慣病などの健康管理もしていただける身近な先生のことです。かかりつけ医を持つメリットは、どんな症状でも気軽に相談できること、専門に偏らない知識と豊かな経験に基づく診療を受けられること、必要な場合に適切に専門の病院を紹介して頂けることなどが挙げられます。

② 紹介状をご持参ください



当院では、かかりつけ医からの紹介状をお持ちの患者様の診察・検査を優先させていただいております。また初診時に紹介状がありませんと、2,100円の特定療養費が発生します（救急患者様に関してはこの限りではありません）。当院の初診外来を利用される際にはなるべく紹介状をお持ちください。

③ かかりつけ医へ通院されても、当院をいつでもスムーズに利用できます

当院での治療が終わり病状の安定した患者様については、再びかかりつけの先生へ紹介させていただいております。かかりつけ医へ通院されても、入院治療や専門的検査が必要となった場合はいつでも対応致しますのでご安心ください。

④ 新しい地域医療支援連携システム「百万石メディネット」

平成20年5月7日より新システム「百万石メディネット」を導入、一部診療所で稼動しています。当院での検査結果・治療内容を診療所端末から閲覧でき、当院の外来や検査をオンラインで予約できます。従来とは比較にならない詳しい情報を共有することにより、継ぎ目のない質の高い連携が実現しています。

地域医療連携室では、病状に応じたかかりつけ医のご紹介や、当院と共同診療を行う登録医マップも掲示しておりますので、お気軽にご相談下さい。

心電図の部屋から生理機能検査室へ

みなさん当院には生理機能（せいりきのう）検査室があるのを知っていますか？名前に馴染みがないものの、多くの方が検査の名前を聞けば場所が分かると思います。「心電図の部屋」と言えばピンとくるのではないのでしょうか。

その心電図室の一部改修工事が行われ、2008年11月20日に生理機能検査室として完了しました。特徴として今まで2階の末梢循環機能検査室（通称ハートマーク）で行われていた血管超音波検査を中病棟1階（心電図の部屋）で行うことになりました。設備に関しては、カーテンの配置を工夫し患者様へのプライバシーを重点に置きました。また床に番号を付けて各部屋の入口を分かりやすくしました。床もカーテンもとても明るくキレイですよ。環境を整えることによってスタッフ一同、患者様に対してよりよい検査を提供出来るように、また接遇面にも十分配慮するよう一層努力していきたいと思っております。もし生理機能検査に対して何かご不明な点ございましたらお気軽にご相談下さい。



心電図検査の他にも、呼吸機能検査、心エコー(心臓超音波検査)、血管エコー(血管超音波検査)、脳波検査、神経生理検査など、多くの検査が行われています。この機会にぜひ、「心電図の部屋」ではなく『生理機能検査室』と覚えて頂ければ有難いと思っております。

ロビーコンサートだより

～ロビーコンサート雑感～



平成16年6月に医師3人によるロビーコンサートがはじまりました。なぜか出演することになり、数年ぶりに楽器を取り出したものの、運指をわすれている、指が動かない、音がつながらない、こんなハビリ状態から練習を再開しました。フルート、バイオリン、ピアノの三重奏でデビューし、弦楽合奏、箏、大正琴、アルパ、金管合奏、サキソホン、ハンドベル、合唱団、プロのフルート奏者、ソプラノ歌手、チェロ奏者などの方々と競演を重ね今日に至っています。

25回以上も続けてこられたのは、いつも100人を超える聴衆である患者さん達の支持、病院スタッフの支援、共演者にはまげられないという意地、薬剤師、ナース、研修医など院内や院外からの多くの出演ゲストの皆様のおかげです。色々な曲を持ち込んでもさっと伴奏してくれる伊勢先生なしにはこのコンサートは成り立たないことも申しあげておきます。

録音を聴いておりますので、自分では許容範囲だと思ったキズが明らかに許容を超えていたり、表現が思ったほど伝わってなさそうなのは重々承知しています。とはいえ練習を質、量とも見直し楽器さえも変え確実にレベルアップしているはず。一回目のコンサートで嫌になった方々、是非また聴きにきてください。前回も聴いて頂いた方々、退院してもまた聴きにきてくださいませ。前回以上の、暇つぶし以上の、感動と幸せなひとときをお届けすることをお誓い申し上げます。

(瀧口哲也；耳鼻科医長。松本まつ、日向恵子、佐野悦郎氏にフルートを師事、大学オーケストラ時代にはビゼー アルルの女第2組曲でソロをつとめ、フランク フルートソナタを演奏し音楽教室を卒業、ロビーコンサートではモーツァルト フルート協奏曲第2番、バッハ ブランデンブルグ協奏曲第5番などを演奏)

ニツタ先生の神経百話（第15回）

～痛～い脳梗塞と痛くな～い脳梗塞（脳卒中シリーズその7）～



皆様、寒くなりましたがお元気でお過ごしでしょうか。寒くなれば、脳や心臓の病気が心配になりますよね。たいていの方は、脳梗塞は脳の病気だから頭が痛くなるはずだ、と、思っ

ていらっしやると思います。が・・・、残念ながらそれはちょっと違います。くも膜下出血や脳出血は頭痛を伴いますが、脳梗塞で頭痛がすることは通常は**ありません**。

しっかっし～～～、

入院される数日前に頸から顔の痛みが出た、まじめて律儀なMさんは、痛みで体調が悪かったにもかかわらず約束してあったゴルフに出かけました。しかし、プレイ中にグリーンとは反対の方向に球を打ったり、クラブを右手にはめたりと、行動が少し変でした。翌日、手足の麻痺が始まり、神経内科を受診されました。

検査では、脳に出血はなく、新しい脳梗塞が見つかりました。しかし、先ほどお話ししたように、脳梗塞では痛みを伴わないのが普通ですから、Mさんの場合は通常の脳梗塞ではなく、別の原因を考えなくてはなりません。脳の専門医であれば、痛みを伴う脳梗塞の場合は、**動脈解離**が原因として頭に浮かびます。**動脈解離**とは、名前の如く動脈の薄い壁が裂け（いかにも痛そうですね）、裂け目に血が入り込み、そこに血圧が加わってさらに奥に向かって裂けてゆく病気です。血管の壁が裂けて中に血が入り込むので、壁はどんどん大きくふくらむため、本来の血液の通り道が圧迫されて狭くなり、ついには詰まって血が脳に通わなくなり、脳梗塞となります。幸いにも、Mさんは内科的治療で痛みと麻痺はなくなり、元気になりました。**動脈解離**は、若い人の脳梗塞の原因としても重要です。特にこれからは、スノボーをしていて転んだ際に**動脈解離**になり、脳梗塞を起こすことがあります。また、マッサージや整体、テニスや水泳など、たいしたことがないと思われることも原因となり得ます。

脳卒中は年寄りだけの病気では**ありませぬぞお**。赤ちゃんも、子供も、高校生も、そこのおじさん・おばさんなる可能性があります。皆様、**御自愛**くださいませ。



11月7・8日

金沢医療センター附属金沢看護学校祭を行いました!

1日目は学習発表会や高砂大学校合唱クラブコンサート、2日目は看護の店、模擬店、バザーなど様々な催し物を企画しました。高砂大学校合唱クラブコンサートでは、多くの患者様にきていただき、学生と共に歌に合わせて口ずさんだり手拍子をしたりして楽しいひとときを過ごすことができました。その様子から附属の学校だからできることだと改めて感じました。

2日目は地域の皆様、ご父兄の方々など多くの人にきていただき賑わいました。最後に、皆様方のご協力のもと無事学校祭を終えることができこの場をお借りして感謝申し上げます。(文責 山田)



老人看護専門看護師の誕生

2008年11月、老人看護専門看護師に認定されました。専門看護師とは、高度化・専門分化がすすむ医療現場で看護の質の向上を図るため、専門看護分野の臨床経験の後、看護系大学院での教育を修め、日本看護協会より資格認定を受けた看護師のことです。専門看護分野において、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究の役割を担い活動していくこととされています。

老人看護専門看護師の人数はまだ少なく、私は全国で14番目の老人看護専門看護師です。老人看護を選んだのは、病棟で出会う患者さまの多くが高齢者という昨今の状況で、一般的・社会的に高齢者の立場に立ったという方にも100歳近くの長寿の方にも、独自の心身の特徴や発達段階、人生の歩みがあり、個別的に看護が提供され展開していくことが必要だと思ったからです。家に帰りたいと願う方の希望を叶えることや、慢性的な病気があっても、生活をよく把握し意思を尊重しつつ、調子のよい状態が維持できるような自己管理方法や身体内部の理解を促すかわりを持つことの必要性を感じています。また、ご家族や医療者が、対応困難に陥っているケースも時にはあるので、相談に乗っていくことも必要だと思っています。

今後、老年看護の専門看護師として、皆様のご支援をいただきながらがんばっていきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

（老人看護専門看護師 高道 香織）



～～～ 金沢医療センターの理念及び基本方針 ～～～

【理 念】

私たちは、生命の尊さと人権を尊重し、安全で最良の医療をめざします。

【基本方針】

- 一、説明と同意に基づく信頼される医療を提供します。
- 一、臨床研究を行い、医学の進歩に貢献します。
- 一、病診連携を推進して、地域医療に貢献します。
- 一、医療提供基盤の安定に努め、医療環境の向上を図ります。

「話題の病気シリーズ」 なっとくのいく話

今後の予定

開催場所：当院地域医療研修センター

第59回 ～睡眠時無呼吸症候群は万病のもと～ 呼吸器科医師 廣瀬達城
平成21年2月26日(木) 午後3時から

第60回 おなかを切らずに動脈瘤をなおす 心臓血管外科医師 笠島史成
～腹部大動脈瘤に対するステント治療～
平成21年3月19日(木) 午後3時から

※ 約40分の予定です。一度お聞き下さい。毎回好評ですよ。

担当医一覧表

平成21年 2月

診療科目	診療時間	【初診受付時間】 午前8時30分～11時30分					備考
		月	火	水	木	金	
内科	初診	吉村	吉尾/北	周藤	長岡	伊勢	火曜日:初診は隔週交代です
	初診(消化器)	太田(肇)	高田	在原	林(武)/中河	丸川	木曜日:初診(消化器)は隔週交代です
	内分泌・代謝①	能登	長岡	能登	乙田	長岡	糖尿病教室:第1～第4月曜日(14:00～15:00)
	内分泌・代謝②		(能登)	乙田			高血圧教室:第2水曜日(15:30～16:30)
	腎・膠原病	伊勢	伊勢	山内	吉村	吉村	
	血液	吉尾			周藤	吉尾	
	呼吸器	北	曾根	北	廣瀬	廣瀬	禁煙外来:2月毎週火曜日(14:00～15:00)要予約
	消化器①	森本	太田(肇)	森本	太田(肇)	森本・林(武)	
消化器②	在原	中河	丸川	丸川	高田		
精神科		坂井	小室	杉盛	小室	坂井	
神経内科		新田	坂尻	新田	坂尻	新田	火:物忘れ外来(午前・要予約) 水:頭痛外来(午前) 金:ふるえ外来(午前)
循環器科	一診	佐伯	中村	加藤	中村	中村	初診(毎日)
	二診	小見	阪上	阪上	阪上	小見	
	三診	小島	佐伯		佐伯		
小児科	一診	太田(和)	酒詰	太田(和)	酒詰	太田(和)	予防接種:火・木曜日の14:30～15:30(要予約)
	二診	西田・三谷	三谷	西田	三谷	刀祢	午後の専門外来:14:00～16:30(要予約) 健診:火・木曜日の13:30～15:00(要予約)
	専門外来					循環器・酒詰	
	午後予約外来	小児神経 三谷	1ヶ月健診・発達	腎臓 太田(和)	乳幼児健診・発達	循環器 酒詰	
午後予約外来	夜尿 太田(和)		内分泌 西田	慢性疾患 酒詰/三谷			
外科	一診	桐山	(手術日)	桐山	(手術日)	桐山	
	二診	竹川		竹川		竹川	
	三診	黒阪		黒阪			
	五診			小島(第1・第3水曜)			
	六診	初診(寺井)		初診 藤本		初診 藤本	
	七診	道輪				道輪	
	乳腺外来	道輪		桐山		竹川	
整形外科	初診	初診のみ	納村	初診のみ	藤巻	初診のみ	
	再診	(当番医)	池田	(当番医)	池田	(当番医)	
	再診		藤巻		納村		
	再診	(手術日)	内藤	(手術日)	内藤	(手術日)	
脳神経外科	一診	池田	池田	当番医	池田	正印	月、水、金曜日:手術日
	二診	赤池	正印/赤池	(手術日)	正印	赤池	火曜日二診は、一週交代です。(10:00～) 木(14:00～)パーキンソン病外来(要予約)
呼吸器外科	一診	太田(安)	(手術日)	太田(安)	(手術日)	太田(安)	
	二診	守屋		守屋		守屋	
心臓血管外科	一診	再診のみ	遠藤	再診のみ	遠藤	再診のみ	初診(一診)は火・木曜日です。 月、水、金曜日:手術日
	二診	(手術日)	川上	(手術日)	松本	(手術日)	
	三診		松本		笠島		
皮膚科	初診/再診	稲沖	西島	稲沖	稲沖	西島	乾癬外来:木曜日(13:30～15:30)
	再診	西島	稲沖	西島	河畑	河畑	
	再診	河畑	河畑		午後専門(乾癬)外来		
泌尿器科	一診	越田	越田	越田	飯島	越田	ED外来:第2・4木曜日 14:30～ ストマー外来:第3月曜日 13:30～ 月、水、金曜日:手術日
	二診	石浦	飯島	石浦	石浦	石浦	
		飯島(手術日)		飯島(手術日)		飯島(手術日)	
産婦人科	一診	瀬戸	平林	瀬戸	金谷	瀬戸	妊産婦健診:午前(月～金) 助産師外来:午前(月～金) 火、木曜日:手術日 午後:助産師乳房外来(要予約)
	二診	平林	当番医	平林	当番医	平林	
	三診	金谷	(手術日)	金谷	(手術日)	金谷	
		西		西		西	
眼科	一診	長田	長田	長田	長田	長田	火・木曜日:手術日
	二診		当番医		当番医		
耳鼻咽喉科	一診	瀧口	瀧口	瀧口	瀧口	瀧口	小児難聴:水～木曜日 めまい:火、木曜日 月、水、金曜日:手術日
	二診	荒館	荒館	荒館	荒館	荒館	
放射線科	一診	斎藤	多田		多田	斎藤	照射の依頼:毎日可
	(超音波)	牧田・俵原	多田・小林	大久保・小林	多田・俵原	俵原	
歯科口腔外科	初診/再診	中尾	(当番医)	能崎	(当番医)	初診のみ	小山 中尾 能崎 山崎・向
	再診	能崎		中尾			
	再診	小山		小山			
	再診	山崎・向		山崎・向			
	再診						
麻酔科	一診	岸槌	岸槌		岸槌	岸槌	ペインクリニック、術前診察:午前中
	二診	横山	野竹			太田(敏)	

※ 特殊外来及び午後外来は、予約が必要です。なお、急患については、終日受付します。
担当医は都合により変更となる場合がありますのでご了承ください。

コスモス広場

院内で携帯電話が使えます！！

マナーを守ってご使用ください！！

これまで院内において携帯電話は使用禁止となっていました。患者さんやご家族の便宜から使用可能場所を設けました。

使用可能場所は、医療機器への影響や入院中の同室者への迷惑を考慮し個室病室、各病棟のエレベーターホール付近、一階のロビーや休憩スペースです。

また、使用にあたってはマナーを守って頂くようお願いいたします。個室病室で使用される場合は医療機器への影響について職員にお尋ねください。



分娩(介助)料の改定について

当院は次に紹介する「産科医療保障制度」へ参加しています。そのため、分娩(介助)料について改定を行うこととなりました。何とぞ、ご理解とご協力をお願いします。

変更日	平成21年1月1日	
新料金	時間内	120,000円
	時間外	130,000円
	休日・深夜	140,000円

*分娩料とは正常分娩など、健康保険の適用にならない出産にかかる費用です。その他に入院看護料や室料などが必要となります。平成21年1月1日から「産科医療保障制度」が始まります。

————— 当院も参加しています —————

分娩に関連して発症した重度脳性麻痺児に対する補償の機能と脳性麻痺の原因分析・再発防止の機能とを併せ持つ制度として創設されました。

目的は分娩に関連して発症した脳性麻痺児およびその家族の経済的負担を速やかに補償することと、脳性麻痺発症の原因分析を行い、将来の脳性麻痺の予防に資する情報が広く社会に公開されることです。

詳しくお知りになりたい方は、専用リーフレットを外来でお配りしています。



編集後記

2008年の流行語大賞は「グ〜！」と「アラフォー」でした。新年を迎えましたが、まだまだインフルエンザや胃腸炎は流行しています。手洗い・うがいで予防に心がけ、健康と景気の回復を期待し、今年はすがすがしい気分で過ごしたいものです。(S・N)

発行元：金沢医療センター（〒920-8650 石川県金沢市下石引町1番1号）

電話：076-262-4161（18時以降の救急受付；076-262-4163）、FAX：076-222-2758

ホームページ <http://www.kanazawa-hosp.jp/> Eメール admin@kanazawa.hosp.go.jp

地域医療連携室（直通番号 076-262-4187、専用FAX 076-262-4188）

編集委員：大伴佐織、緒川陽子、沖田光郎、北川芳美、越田 潔、小西千恵子、周藤英将、滝野 豊
中村由紀夫、西原寿代、増田厚司（五十音順）